

青少年赤十字登録式を行いました！

本校は、青少年赤十字（JRC）に加盟しています。本年度も、5月1日にJRCの登録式を行いました。この活動は、子どもたちが赤十字の精神に基づき、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げ、「気づき」「考え」「実行する」という態度目標を通じて、いのちと健康を大切にして、地域社会や世界のために奉仕する心を育成するものです。

登録式では、「生徒代表の決意」（下）を3年生の東剛志さんが、「誓いの言葉」を、2年生の甲田佳海さんが代表で発表しました。



この活動を通して、人に対する思いやりや優しさを積極的に実践できる人に成長して欲しいと思います。

生徒代表 東 剛志

2年前からJRC登録式を本校で行っています。そのときに青少年赤十字の目的が、日常生活での実践を通じて、命と健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することだとお聞きしました。少し難しく感じたのですが、「奉仕する」という言葉から、私たちの日常生活に置き換えて考えてみると、私たち西郷中生も、昨年度も様々な奉仕活動をしてきました。まず1つめに、目立てです。月・水・金曜日に、委員会ごとに砂利道を整理しています。美化活動をすることによって、自分たちも落ち着いて学校生活を送れるとともに、それを見た人も、気持ち良く通ることが出来ます。2つめに、ふれあい交流活動です。花の苗を植え、病院や高齢者施設に持っていったり、高齢者の方に年賀状を出したりする活動です。地域に住んでいらっしゃる方も、喜んでくださっていると聞きました。3つめに、ごみ拾いです。特に御田祭では、学校からニューホープセンターまでの道を、ごみ拾いをしていながら向かいます。町内だけでなく、御田祭を見にいらっしゃる町外の方も、


気持ちよく祭りを楽しんでいただけます。また、昨年は熊本地震が発生し、募金活動を行いました。熊本の復興を願い、たくさんの方が募金をしてくださいました。また、毎日の清掃活動では毎週木曜日に「気づき、考え、実行する」清掃ということで自分で目標を立てて清掃活動を行っています。その他にも渡り廊下の清掃や廊下の清掃など自主的に取り組んできました。今挙げたこれらの活動は、「誰かのためになる取組」であり、青少年赤十字の目的に合っていると思います。今後は、これまで行ってきた取組を、JRCの活動として、継続するとともに、身近な物事に問題意識をもち、学校や地域社会のためになる取組を増やしていきたいと思っています。小さなことでも、継続して全員で取り組んでいけば、きっと大きな力になります。これからも、全校生徒で協力して、「気づき、考え、実行する」という態度目標のもとJRCの活動に取り組んでいきます。

相手の立場に立てる子どもの育成を！

テレビや新聞等でいじめに関する報道が流れています。それを見るたびに「なぜ」「どうして」と考えさせられます。子どもたちは、学校や家庭そして地域で様々なことを学びながら成長していきます。つまり、大人の背中を見ながら育ちます。そう考えると私たちの責任は重いと思います。学校でもいじめ防止を目指して、全職員でアンテナを高く取り組んで参ります。お子様のことで心配事がありましたら遠慮なくお知らせください。

金子みすゞさんの詩に「大漁」という作品があります。この詩は、大漁の喜びに沸き、お祭り騒ぎの漁村を描くとともにその反対の立場にある魚の悲しみをも見つめています。

すごく嬉しい話も、立場が違えばまったく反対の悲しく冷たい話になるということです。相手の立場に立って考えることが大切ということをお教えてくれます。私たちの身の周りでも同じことがあるかもしれません。ほとんどの人が笑うような面白い冗談でも、笑うことができなかった一人がいるかもしれません。子どもたちには、そんな場面があったら、まずはそのことに気づける人間に育って欲しいと思います。



「大漁」
金子みすゞ

朝焼小焼（あさやけこやけ）だ
 大漁（たいりょう）だ
 大羽鰻（おおばいわし）の
 大漁だ

浜（はま）はまつりの
 ようだけれど
 海のなかでは
 何万（なんまん）の
 鰻（いわし）のとむらい
 するだろう

